

# 聖学院中学校・高等学校

中学入試
高校入試

住所 〒114-8502 東京都北区中里3-12-1

電話 03-3917-1121

FAX 03-3917-1438

URL <http://www.seig-boys.org/> facebook (@Seigakuin.Jr.Sr.HighSchool)

帰国生受け入れ開始年度 2002年度

2019年度帰国生在籍数 中学1年:16人 中学2年:16人 中学3年:11人 高校1年:15人 高校2年:11人 高校3年:13人

帰国生のための部署/担当 入試広報部 帰国生担当/広報副部長 本橋真紀子 先生 問い合わせ先 副校長 清水広幸 先生(h-shimizu@seig-boys.org)

帰国生入試について					
出願資格・条件	海外在住1年以上、帰国後3年以内 ※受験する入試によって、英検やTOEICなどの条件が追加されます。				
出願書類	成績証明書・在学証明書・海外生活報告書・海外在留証明書				
過去3カ年の応募状況		出願者数	受験者数	合格者数	入学者数
	2019年	16	14	13	7
	2018年	16	15	12	5
	2017年	15	15	15	7
帰国生の編入試験について					
出願資格・条件	海外在住1年以上、帰国後3年以内				
出願書類	成績証明書・在学証明書・海外生活報告書・海外在留証明書				
募集	募集学年は中1~中3、高1~高2				
実施時期	時期は、6月・11月・2月(帰国状況にあわせて対応可)				
帰国生に対する配慮					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学時に、本人と保護者と担任を含めて帰国生プログラムを設計</li> <li>・ネイティブ教員6名在籍</li> <li>・1学年5クラス(1クラス25~35人)、一般生と交えてのクラス編成です。</li> </ul>					
外国語・日本語の指導、取り出しや補習など					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・帰国生中心の英語取り出し授業「SSコース」</li> <li>・定期試験の配慮(ふりがな、問題量、範囲などを調整)</li> <li>・帰国生未履修項目をEvening 特別講座でサポート(有料制)</li> </ul>					
入試に向けての事前準備や意識しておいてほしいこと					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外で体験した異文化交流を誇りにしてほしい</li> <li>・面接で自分のこと(体験してきたこと、これからやりたいことなど)を話せる準備</li> </ul>					
帰国生の卒業後の進路・進学状況について					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本だけでなく海外大学へ進学する卒業生も多い</li> <li>・中学1年で英検1級取得</li> </ul>					
留学制度や海外大学進学支援体制について					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・留学先は、アメリカのミズーリ州やハワイ州、イギリスのグロスタシャーを1年</li> <li>・台湾大学進学に向けた華語講座を設置(有料制)</li> <li>・ターム留学(3ヶ月)として、ニュージーランドを実施</li> </ul>					
帰国生や海外在住生徒保護者へのメッセージ					
<p>聖学院の創設者自身が海外からきた宣教師であり、異文化を受け入れ異文化の中で生きてきた学校です。教育理念である「Only One for Others」のもと、個人を尊重し他者のために生きる人間教育が根本にあります。海外で経験した貴重な体験を活かせる土壌が聖学院にはあります。また男の子の成長はとてもしっかりで、勉強も心の成長も人それぞれです。だからこそ、男子校教育のエキスパートである本校にお任せください。</p>					
帰国生対象の英語教室や各種講座について					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語取り出し授業「SSコース」</li> </ul> <p>Language Arts … ネイティブ教員による英語での授業。プレゼンなどの英語表現を鍛えます。</p> <p>Academic Writing … 日本人の教員による授業。英語力を維持しながら時事問題にも取り組みます。</p> <p>TOEIC … SSコース生徒全員受験し、客観的な英語力を把握します。</p>					